

企画総務委員会

令和6年9月30日

1 報告事項

【地域振興部】

(1) 指定管理者施設に関するモニタリングについて

【資料】

2 その他

指定管理者施設に関するモニタリングについて

1 モニタリングの全体像

指定管理者制度を導入した施設が適正な管理運営を行っているか、下記のモニタリングを通じて運営状況を的確に把握・評価し、必要に応じて改善指導を行っている。

(1) 区としての責任の遂行

- 事業計画の承認と事業報告、履行状況の確認
- 月次報告に基づく現場確認・随時の立ち入り調査
- 公益通報保護制度の活用等、既存の制度等との連携

(2) 区民・利用者の視点

- 利用者懇談会の実施
- 区民・利用者アンケートによる声の把握・反映

(3) 専門家からのアドバイス

- 施設経営とリスク管理の確認
- 現場の労働環境を確認

制度共通の課題として実施(平成18年度から)

2 専門家によるモニタリング

1(3) 専門家からのアドバイスとして、下記の認識のもと社会保険労務士による労働環境モニタリング及び公認会計士等による経営財務モニタリングを実施している。

基本的な認識

区と指定管理者が施設の抱える課題などについて共通認識を持ち、協働して区民サービスの向上を継続していくことが重要

施設経営とリスク管理

- 施設の稼働率・収支状況、事業の実施状況等はどうか
- 継続的・安定的な運営を確保できるか
- 今後の方向性等をどうするか

現場の労働環境

- 効率化の推進が適正な労働環境のもとに行われているか
- 企業・区の社会的責任は果たしているか

経営財務モニタリング

【目的】
施設の経営状況の改善、本来目的達成のための事業展開のあり方等の確認

【内容】
現地視察、財務分析、経営アドバイス、利用者の声を踏まえた評価

労働環境モニタリング

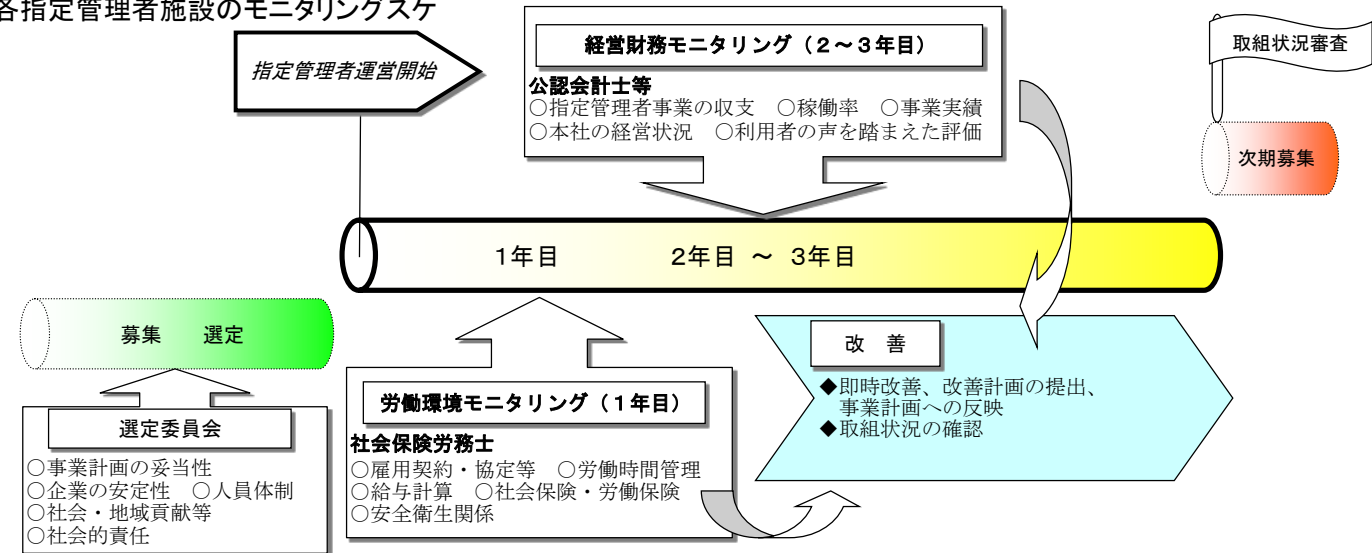
【目的】
適正な労働環境の確認

【内容】
現地調査、書類確認、従業員面接

3 労働環境・経営財務モニタリングのスケジュール

指定1年目に社会保険労務士による労働環境モニタリング、指定2～3年目に公認会計士等による経営財務モニタリングを実施している。なお、指定期間が10年間の施設については、このサイクルのモニタリングを5年ごとに実施する。

各指定管理者施設のモニタリングスケ



各指定管理者施設のモニタリングスケジュール

労働:労働環境モニタリング
経営:経営財務モニタリング

施設名	年度											
	H27	H28	H29	H30	H31 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
内幸町ホール	労働	経営				労働	経営					
千代田万世会館		労働	経営				労働	経営				
いきいきプラザ一番町		労働	経営				労働		労働	経営		
岩本町ほほえみプラザ		経営			労働	経営				労働	経営	
スポーツセンター			労働	経営				労働	経営			
九段生涯学習館			労働	経営				労働	経営			
図書館(千代田・四番町・昌平ましかど・神田ましかど)・日比谷図書館文化館			労働	経営				労働	経営			
障害者就労支援施設(ジョブ・サポート・プラザちよだ)			労働		経営			労働	経営			
障害者福祉センター(えみふる)	労働	経営				労働		経営			労働	
富士見わんぱくひろば(※)					労働							
高齢者総合サポートセンター(かがやきプラザ)		労働	経営				労働	経営				

※富士見わんぱくひろばの指定管理業務は、富士見みらい館のPFI事業に含まれている。PFI事業については、公認会計士の監査を経た財務の状況の報告書を提出させ、事業全体として収支状況等の確認を行っているため、富士見わんぱくひろば単独での経営・財務モニタリングは実施しない。

令和5年度 千代田区立図書館 経営・財務モニタリング

1 経営・財務モニタリングの概要

- 対象：千代田区立図書館(令和4年度実績)
- 方法：指定管理者制度第三者評価を行っている事業者(経営創研株式会社)による経営状況、財務状況の分析(書類確認、現場確認、ヒアリング等による)
- 視点：経営状況、財務状況、課題及び改善点

3 経営・財務状況

(1)施設利用状況(令和4年度)

a 図書館業務	
来館者数(5館計)	1,022,355 人
個人貸出数(5館計)	767,553 点
資料数(5館計)	571,220 点
利用登録者数(5館計)	47,370 人
レファレンス受付件数(5館計)	6,985 件
データベース利用件数(千代田、日比谷)	5,087 件
千代田Web図書館	所蔵タイトル数 10,627 点 貸出数 19,638 点
広報活動(千代田、日比谷)	パブリシティ件数 190 件 視察対応件数 28 件
b 貸室	
大ホール利用率(日比谷)	51.2 %
小ホール利用率(日比谷)	58.0 %
会議室A・B利用率(日比谷)	43.9 %
特別研究席占有率(日比谷)	12.1 %
研修室1～3利用率(千代田)	53.1 %
c レストラン・ショップ&カフェ	
来客数	67,729 人

(2)施設収支状況(令和4年度)

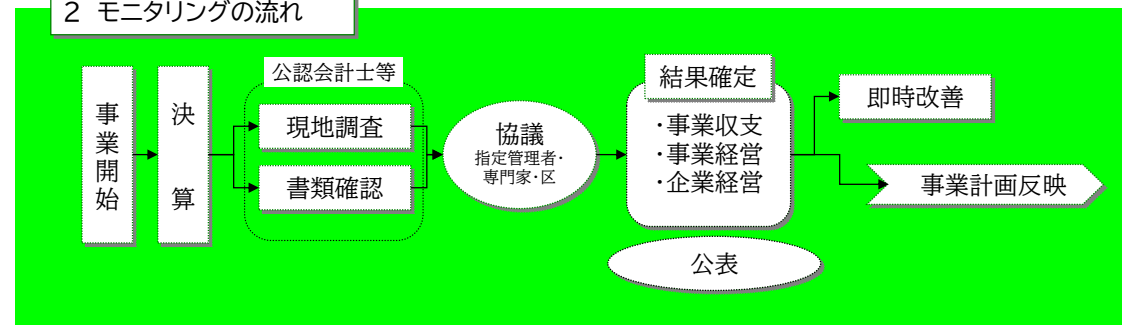
収 入	決算額
指定管理料	880,319,422 円
研修室、会議室、ホール等利用料	25,153,796 円
レストラン、ショップ&カフェ販売料等	54,620,485 円
日比谷カレッジ受講料	3,490,180 円
特別研究席利用料、日比谷ラボラトリー売上	1,407,900 円
特別展入場料	1,771,800 円
コピーサービス利用料、共催費	2,380,330 円
損失補償額 ※	37,103,724 円
計 (A)	1,006,247,637 円

※損失補償額については、基本協定書第47条及び庁内通知に基づき、コロナ禍による収入減を不可抗力と判定し、合理性の認められる範囲で区が負担する金額を算定した。

支 出	決算額
人件費	536,634,102 円
資料費	83,513,828 円
システム運営費	2,632,874 円
広報費	11,933,681 円
一般運営費	37,164,794 円
維持管理費	177,340,264 円
一般管理費	20,370,370 円
事業費	149,068,900 円
新規事業費	1,267,589 円
計 (B)	1,019,926,402 円

収支 (A)-(B) = -13,678,765 円

2 モニタリングの流れ



4 提言・アドバイス(事業の改善策)

(1)運営業務

- ・6社が一つのコンソーシアム(共同事業体)を組み5館一体の運営を行っています。「千代田区立図書館宣言」を基にした「5つの機能コンセプト」を継承し、各館共通の運営指針としていますが、それぞれ地域特性を生かした独自事業の更なる展開も期待されます。
- ・本の街・神保町との連携、ビジネスパーソン向けのセミナー・講演会によるビジネス支援を推進する一方、「千代田区子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもたちや子どもを取り巻く大人に対し、本の魅力、読書の楽しさを実感するイベントや展示を実施しています。
- ・利用者が安全かつ快適に図書館内で読書や調査・研究を行えるよう、関係部署や外部機関と連携を図りながら安全管理に取り組んでいます。一年を通して防災訓練や各種研修を実施し、館内の環境維持や防犯対策、サービスの向上に努めています。

(2)財務状況

- ・6社で構成されるコンソーシアムの中で、代表企業のリーダーシップの下、PDCAサイクルを回し、良好な管理運営が行われています。
- ・コンソーシアム各社の本社指定管理施設所管部門及び本社経理部門が連携して積極的に施設のサポートをしていることが、良好な管理運営に貢献しているものと思われます。
- ・各社の指定管理施設所管部門が会計チェックに加わることで、収支の正確性・安全性が確保されています。
- ・収支状況につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大前の水準をベースにした意欲的な収支計画を策定し、計画達成に向けて取り組みましたが、令和4年度の収支実績は新型コロナウイルス感染症の影響が主因で、残念ながらマイナスになっています。令和5年度見込もマイナスの見通しですが、経費の増加抑制のほか、収支の改善策を検討する等、収支のマイナスが最小限となるように努めています。

(3)利用者サービスの向上

- ・セカンドオフィスの機能は千代田区立図書館の優れた側面であり、キャレル席や電源付閲覧席の提供、ビジネス書の書評サイト「ブックピネガー」との連携によるビジネス書紹介など、ビジネスユーザーの需要に応じていると評価できます。今後も利用者のニーズを的確に把握し、より利用しやすい環境整備等を続けていくことが望まれます。
- ・区民の予約冊数の上限を5冊から10冊に拡大し、より使いやすい環境づくりに寄与できた点が評価できます。「利用者満足度」「蔵書満足度」も高い数値で推移していて、各図書館の使いやすさがうかがえます。
- ・接遇面では、いずれの館も利用者からの質問に対し、解決方法を様々な提案するなど親身になって相談を受けようという態度に好感が持てました。しかしながら、印象面では個人スキルのばらつきがありました。ホスピタリティを感じられる図書館になるためには、職員に求められるサービスは何かを理解し、利用者の様子や状況を見ながら場面に応じて能動的に動けることが期待されます。

令和5年度 千代田区立九段生涯学習館 経営財務モニタリング

1 経営・財務モニタリングの概要

- 対象：千代田区立九段生涯学習館（令和4年度実績）
- 方法：指定管理者制度第三者評価を行っている事業者（株式会社ブレインファーム）による財務状況、現地聞き取り調査等による経営状況の分析
- 視点：財務状況、経営状況、課題及び改善点

3 経営・財務状況

(1) 施設利用状況（令和4年度）

総数	7,530件
----	--------

(2) 令和4年度事業内容 ※人数は延べ人数です。

(1) 個別指定事業（区指定分） (単位：講座、人)		
講座名	講座数	受講者数
区民自主企画運営講座	8	552
人材バンク活用講座	7	284
生涯学習教養講座	4	145
ジュニアカレッジ	3	79
子ども自然教室	7	274
くろべ子ども自然体験村	1	30
家庭教育学級	4	93
ちよだ生涯学習カレッジ	31	573

- ・生涯学習人材バンク登録 延310人
- ・講師謝礼助成 46団体
- ・バウチャー制度交付 585件
- ・生涯学習ガイドブック 1,500部発行
- ・生涯学習ホームページ運営 通年

(2) 個別指定事業（提案分）

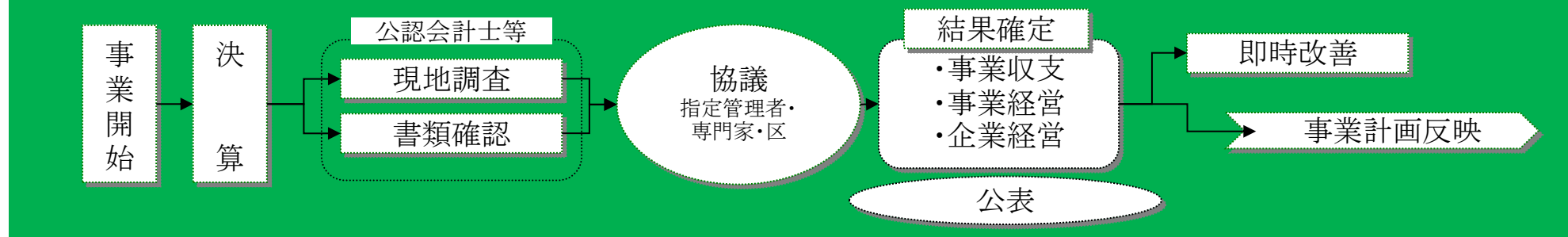
ちよだまち魅力探訪	2	29
異世代交流事業	1	29
すほすたスタディプログラム	40	569

- ・九段オープンラーニング ミニ講座：5講座、40人
（九段フェス2023） 活動紹介、舞台発表：44団体
ミニイベント参加、舞台発表鑑賞：489人
- ・施設利用者用コピー機設置 通年
- ・フリーWi-Fiの設置 通年

(3) 施設の収支状況（令和4年度） (単位：円)

項目	決算額	項目	決算額
収 指定管理料	115,037,666	支 人件費	67,332,134
施設利用料金	7,533,150	光熱水費	8,184,038
個別指定事業収入	3,826,080	消耗品費等	1,926,571
独自事業収入	219,920	修繕費	1,295,778
その他	254,956	役務費	2,362,812
入 合計(A)	126,871,772	委託費	11,749,788
		賃借料	652,542
		個別指定事業費	21,038,572
収支差額(A)-(B)	191,196	出 独自事業費	1,232,974
		諸経費	1,105,367
		一般管理費	9,800,000
		合計(B)	126,680,576

2 モニタリングの流れ



4 提言・アドバイス（事業の改善策）

(1) 運営業務

- ・管理運営の基本方針は毎朝の朝礼などで確認が行われています。職員の日々の気づきや引き継ぎ事項、施設における「ヒヤリハット事例」などはオンラインツールによって効率的に情報共有・管理されています。職員ごとの目標管理シートが作成され進捗管理されています。
- ・関係法令や基本協定書及び提案書に沿った施設運営が概ね適正に行われています。利用者に人気の高い施設・設備の予約は、ルールを設けて公平な利用に努めています。
- ・施設運営に経験の豊かな人材を配置し、役割や責任体制が明確に示されています。千代田区や協力事業体とは定期会議で情報共有を行っているほか、日常的な連携体制を構築しています。
- ・様々なオンラインツールを用いて円滑で効率的なコミュニケーションが行われています。
- ・全国展開している指定管理者の人材育成・活用ノウハウが施設運営に活かされています。様々な研修を受講することで、少ない人数でも円滑な施設運営が可能になっています。従事者の間に助け合いの風土が根付き、良好なコミュニケーションが行われています。
- ・一部は天候不良で取りやめになったものの、概ね計画通りに事業が実施できています。利用者のニーズに応える形で事業が企画されています。事業実施内容は、日時、場所、参加者、次第、概要等を含めて適正に記録・保管されています。

(2) 財務状況

- ・利用者数がコロナ前の水準に戻らない中で、コスト削減努力等により黒字収支が維持できています。
- ・財務管理面では、施設側と指定管理者（会社）側で会計の二重チェック体制が設けられています。
- ・間接経費の按分負担として収入の7%相当の金額を一般管理費として計上していますが、これは概ね適正な範囲と考えられます。

(3) 利用者サービスの向上

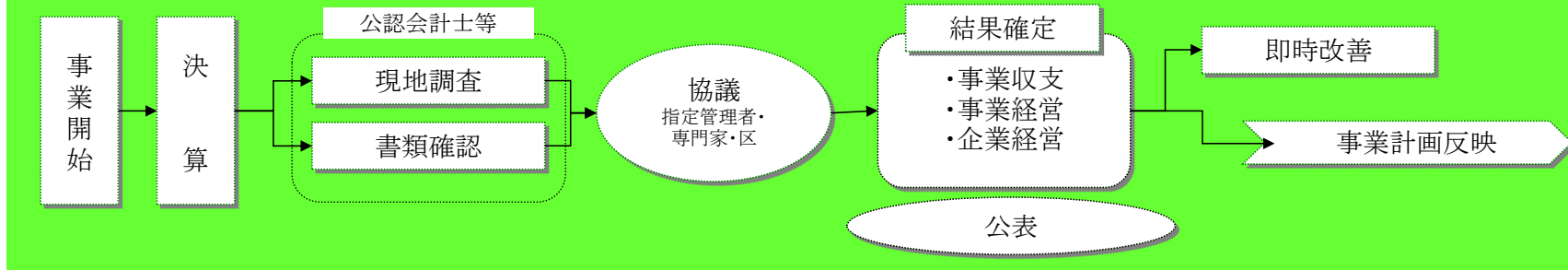
- ・職員は名札を常時携帯し、利用者に対して挨拶を励行し気持ちよい施設運営に心がけています。接遇に関する実地研修やオンライン研修を全員が受講でき、マナーやスキルアップの機会を設けています。障がい者などが施設利用をする際には積極的な支援や介助を行っています。
- ・利用者に人気の高い施設・設備の予約は、ルールを設けて公平な利用に努めています。
- ・紙媒体やオンラインで施設の取組に関する各種コンテンツを自主制作し、積極的な情報発信を行っており、利用者数の顕著な回復が見られます。一方で、区内大手企業がテレワークを推進していることも影響し、利用者数がコロナ禍前の水準まで戻り切っていない状況です。新しい利用者層の開拓が望まれます。
- ・毎年必ず利用者アンケートを実施し、寄せられた意見を基に畳の入れ替えなど備品整備等に反映しています。対応できない意見については、館内に回答を掲示して利用者の理解を求めています。区とは常時連絡できる体制を整備し、情報共有を行うことで利用者サービスの向上に向けて円滑なコミュニケーションを行っています。

令和5年度 千代田区立スポーツセンター 経営財務モニタリング

1 経営・財務モニタリングの概要

- 対象： 千代田区立スポーツセンター（令和4年度実績）
- 方法： 指定管理者制度第三者評価を行っている事業者（株式会社ブレインファーム）による財務状況、現地聞き取り調査等による経営状況の分析
- 視点： 財務状況、経営状況、課題及び改善点

2 モニタリングの流れ



3 経営・財務状況

(1) 施設利用状況（令和4年度） (単位：人)

主競技場	剣道場	柔道場	卓球場	弓道場	相撲場
56,214	15,005	13,827	17,431	15,513	896
トレーニングルーム	プール	ゴルフレンジ	多目的室	集会室	見学者
46,647	34,530	4,494	5,464	10,373	366

(2) 個別指定事業実績（単位：人）

フィットネスプログラム	プールプログラム
4,038	4,474

(3) 募集制教室事業実績 (単位：人)

フィットネスプログラム	プールプログラム	卓球プログラム
2,441	1,644	4,497

(4) すばすたちよだクラブプログラム参加実績（単位：人）

フィットネスプログラム	プールプログラム
9,000	1,315

(5) 区民無料開放日利用状況 (単位：人)

総数	主競技場	トレーニングルーム	プール
3,115	969	1,117	1,029

(6) 施設の収支状況（令和4年度） (単位：円)

収		支	
項目	決算額	項目	決算額
指定管理料	154,242,443	人件費	129,880,784
施設利用料金	49,313,064	光熱水費	42,161,189
個別指定収入	32,823,423	消耗品費等	5,009,856
独自事業収入	12,525,960	修繕費	8,035,518
その他	5,299,343	役務費	3,542,275
損害・損失負担金*	24,297,745	委託費	27,870,480
合計(A)	278,501,978	保守・賃貸料	3,135,916
		備品購入費	1,841,840
		個別指定事業費	18,601,471
		独自事業費	7,843,428
		租税公課	9,549,873
		諸経費	1,657,348
		一般管理費	19,372,000
		合計(B)	278,501,978
収支差額(A)-(B)	0		

※損害・損失負担金については、基本協定書第46条及び庁内通知に基づき、コロナ禍による収入減を不可抗力と判定し、合理性の認められる範囲で区が負担する金額を算定した。

4 提言・アドバイス（事業の改善策）

(1) 運営業務

- ・管理運営の基本方針は名刺大に印字されて従事者に配布されています。日々の気づきや引き継ぎ事項は業務連絡ノートのほか、オンラインでの情報共有も行われています。前年度に抽出した課題を踏まえて計画を微調整し、教室運営プログラムの修正等に反映されています。
- ・関係法令や基本協定書及び提案書に沿った施設運営が概ね適正に行われています。利用者に人気の高い施設・設備の予約は、ルールを設けて公平な利用に努めています。障がい者の施設利用に対しては従事者が積極的に支援・介助を行っているほか、利用客に挨拶を励行して気持ちよい施設運営ができています。
- ・施設運営に経験の豊かな人材を配置し、役割や責任体制が明確に示されています。千代田区や協力事業体とは定期会議で情報共有を行っているほか、日常的な連携体制を構築しています。個々の協力事業体が保有する施設運営のノウハウが円滑に情報共有されています。千代田区のスポーツ・健康施策を反映する形で施設の5カ年計画が策定されています。
- ・情報共有は毎朝の朝礼や業務連絡ノートの回覧のほか、様々なオンラインツールを用いて円滑に行われています。データベースの情報には利用者ごとにアクセス権が設けられ情報セキュリティ管理も適正に行われています。勤務の合間にオンライン研修を受講できる仕組みが整備されており、全員に受付業務ができるため、少人数で円滑な施設運営ができています。
- ・利用者の意見を反映して教室プログラムを見直しています。コロナ禍で見合わせていた預かり保育は、利用者の要望を受けて再開する目処が立っています。業務水準書にある生涯スポーツに関する個別指定事業をすべて実施しています。事業実施に関する記録は、日時、場所、参加者、次第、概要等を含めて適正に保管されています。

(2) 財務状況

- ・全体的な収支状況では、利用者数がコロナ前の水準に戻らず収入補填を受けています。
- ・テレワークを推進する大手企業が区内に多く所在するという地域特性があるとはいえ、区内在勤者の利用回復が大きな課題と言えます。
- ・財務管理面では、施設側と指定管理者（会社）側で会計の二重チェック体制が設けられています。
- ・間接経費の按分負担として収入の7%相当の金額を一般管理費として計上していますが、これは概ね適正な範囲と考えられます。
- ・施設利用料金の収受においてキャッシュレス決済を導入したことで、利用者には好評です。

(3) 利用者サービスの向上

- ・従事者は名札を常時携帯し、利用者に対して挨拶を励行し気持ちよい施設運営に心がけています。接遇に関する実地研修やオンライン研修を全員が受講でき、マナーやスキルアップの機会を設けています。障がい者などが施設利用をする際には積極的な支援や介助を行い、円滑な利用ができるよう努めています。
- ・研修の充実によって誰でも受付業務を行える体制を構築し、少人数で円滑な運営を実現しています。トレーニング室の初期利用者には必ず使用方法の説明受講を義務づけて事故や怪我の未然防止を図っています。来館者にピンゴカードを配布するなど、施設を楽しく利用できる環境整備に努めています。
- ・毎年必ず利用者アンケートを実施し、寄せられた利用者の意見を備品の整備や教室プログラムの改正に反映しています。所管課とは常時連絡できる体制を整備し、情報共有を行うことで円滑な施設運営ができています。利用者に対して積極的な声かけをし、意見を反映する形で経費節減に努め、グリーン購入や光熱水道料金の低減を励行しています。

令和5年度 指定管理施設に係る事業報告概要

施設名	千代田万世会館	所在地	千代田区外神田一丁目1番7号
-----	---------	-----	----------------

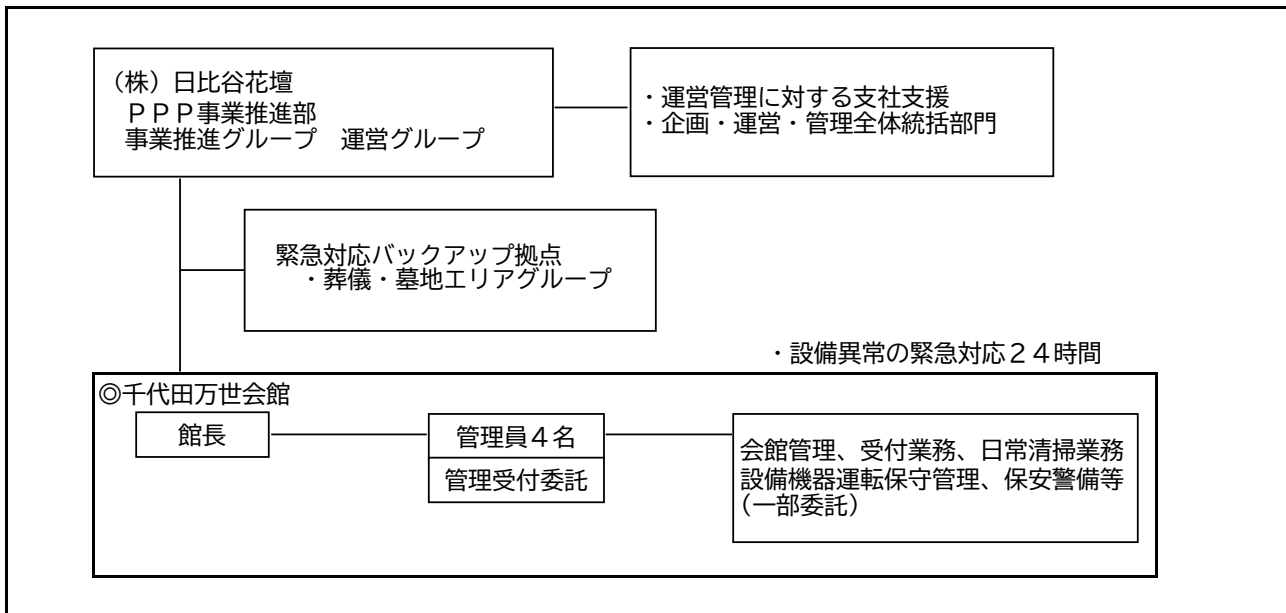
1 指定管理者の概要

名称	株式会社日比谷花壇	代表者	代表取締役 宮島 浩彰
所在地	東京都千代田区内幸町一丁目1番1号		
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	報告期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

2 管理施設の概要

施設の目的	区民に葬儀および法要の場を提供し、区民福祉の増進を図る。
管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・千代田万世会館の施設の利用承認等に関する業務 ・会館の保守及び維持管理に関する業務 ・会館の運営に関する業務

3 管理体制の状況



4 事業実績等

ア 利用実績

令和5年度	①葬儀利用 ※は1日1組の葬儀とし 休館日を除いた日数	②遺体保管用冷蔵庫 ※は1日2遺体利用とし た延べ日数	③会議・法要利用 ※は休館日を除いた日数
(A) 利用可能日数※	357日	730日	357日
利用件数	69件	58件	24件
(B) 利用日数	129日	288日	23日
利用率 (B) / (A)	36.1%	39.5%	6.4%

※休館日：令和4年度は年始（1月1日・2日）及び奇数月最終友引日等の合計8日

【参考】過去3年間の実績	①葬儀利用		②遺体保管用冷蔵庫		③会議・法要利用
令和4年度	77件	133日	52件	234日	19件
令和3年度	72件	127日	56件	234日	2件
令和2年度	58件	107日	49件	199日	6件

イ 施設等の維持管理業務

- ・建物、設備保守管理 ・施設清掃業務（害虫駆除含む） ・消防設備等保守
- ・警備業務 ・音響設備保守 等

5 収支の状況

収 入		支 出	
指定管理料	23,674,000円	人件費	9,017,412円
利用料金	6,840,400円	維持管理費	15,493,227円
その他（自動販売機売上収入）	46,115円	運営費	3,785,273円
合計（①）	30,560,515円	合計（②）	28,295,912円
収支差額（①－②）	2,264,603円		

6 指定管理者による自己評価

サービス提供に関して	収支に関して
<p>・遺体安置用冷蔵庫入替え 区主導のもと、遺体安置用冷蔵庫（以下冷蔵庫）を交換した。従来使用していた冷蔵庫は故障やオゾン発生装置の不具合等があり、利用者にとっては決して満足いく設備ではなかった。そのため、利用者の意見を取り入れながら、冷蔵庫の入替えを実施した。</p> <p>・施設修繕 令和5年度も利用者の安心、安全の為に施設の修繕を実施した。特に、利用者の安全を考慮し、2階防火シャッターの自動開閉装置を修理した。本装置は、経年による劣化が見られ、災害の際の動作不良が懸念されることから修理を実施した。</p> <p>・フラワーアレンジメント教室 令和5年度も前年度に引き続きフラワーアレンジメント教室を実施した。これは区民のための施設である万世会館への認知向上と、地域の新たなコミュニティ創出を目指すものであり、令和5年度は参加者数が延べ82名となった。</p> <p>・終活講座 令和5年度は新しい試みとして区民向けの終活講座を開始した。葬儀会館としての万世会館の認知向上と高齢者区民の”知りたい”情報の提供を目的としたものである。本件は令和6年度も引き続き実施する予定である。</p>	<p>令和5年度利用料金収入は、6,840千円、計画対比80.9%に留まった。前年度と比較すると、172千円の減額、2.5%の減少となった。支出は、計画対比▲1,272千円、95.7%とわずかにマイナスとなった。</p> <p>葬儀式利用は前年度対比90.4%となり、コロナ禍以降で初めての前年割れとなった。会議・法要はコロナ禍以降に利用する団体が定着し、数件の新規団体も加わり前年度対比127.7%となった。付帯設備（遺体安置用冷蔵庫）利用も前年度対比で126.7%と増加した。これは、利用件数の増加もさることながら、1件あたりの利用日数が増加したためである。</p> <p>経費は、電気料金の高騰が続いており、光熱水費が前年度に比べ2.1%とわずかではあるが更に増加した。人件費、消耗品費、その他（広告宣伝費・雑費等）が削減されており、全体経費は前年度対比101.1%とほぼ前年と同様の結果となった。</p> <p>区からの光熱費高騰に伴う指定管理料の追加（431,580円）があり、最終的な収支は55千円のプラスである。</p> <p>利用収入金の大半を占める葬儀利用はその規模が縮小傾向（家族葬、1日葬）を続けており、コロナ禍以前のような大規模な葬儀は稀になってきている。しかしながら、コロナ禍で制限されていた通夜振舞い、精進落とし等の食事が再び利用されるようになり、それに伴い葬儀1件あたりの単価は回復してきている。</p>

7 区による評価・業務改善要求

利用者が安心して施設を利用できる環境整備や自主事業による万世会館周知に努めており、高く評価できる。施設管理においては、設備保守点検による不具合の早期発見や計画的な修繕の実施により安全性が確保されているほか、会館利用者等の意見に迅速に対応している。

8 今後の指定管理に区が期待すること

葬儀規模は、今後も縮小傾向となっていくことが想定される。万世会館は中・小規模葬儀に適している施設であることをアピールするとともに、これまでの運営ノウハウを活かした利用者サービスの提供や会議室のさらなる活用を引き続き期待する。

令和5年度 指定管理施設に係る事業報告概要

施設名	千代田区立内幸町ホール	所在地	千代田区内幸町1-5-1
-----	-------------	-----	--------------

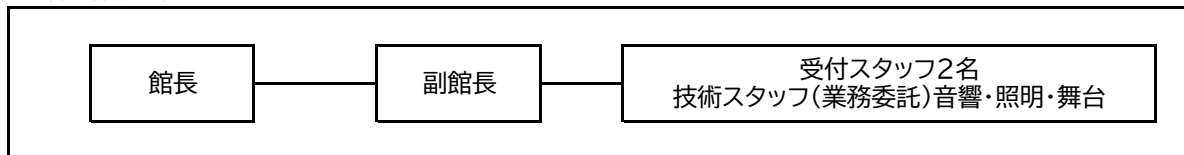
1 指定管理者の概要

名称	株式会社コンベンションリンケージ	代表者	平位 博昭
所在地	東京都千代田区三番町2 三番町KSビル		
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日	報告期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

2 管理施設の概要

施設の目的	千代田区の文化芸術の振興を図り、区民(区に住み、働き、学び、集うすべての人々をいう。以下同じ。)が演劇・音楽等の文化芸術活動を実践することができる場の提供、文化芸術活動を行う団体等の育成及び区民が文化芸術を享受することができる機会の提供を図ること、その他区民の利用に供することを目的とする。
管理業務の内容	(1)ホール施設及び付帯設備(以下「ホール等」という。)の利用承認等に関すること (2)演劇・音楽等の公演その他の催し物に関すること (3)区民の自主的な文化芸術活動意識の醸成に関すること (4)文化芸術活動を行う区内の団体等の支援及び育成に関すること (5)ホール等の保守点検および施設設備の維持管理に関すること (6)その他ホールの目的を達成するために必要な事業

3 管理体制の状況



4 事業実績等

ア ホール利用実績

	年間日数	休館日数・メンテナンス日数	日単位の利用実績			利用区分別の利用実績		
			利用可能日数	実利用日数	利用率	利用可能区分数	実利用区分数	利用率
令和5年度	366	41	325	319	98.15%	865	761	87.98%
令和4年度	365	6	359	329	91.64%	1005	828	82.39%
令和3年度	365	60	305	225	73.77%	906	537	59.27%

※令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館や夜間の利用休止、客席数の制限を実施した。

イ 利用目的別件数

	演劇	音楽	舞踊	落語	朗読	その他	合計
令和5年度	12	175	28	102	25	45	387
令和4年度	39	169	24	99	22	35	388
令和3年度	16	124	11	50	10	32	243

ウ ホール主催事業

7演目実施(朗読・解説1回、落語1回、音楽3回、体験教室1回、その他1回)

エ ホール共催事業

内幸町ホール文化祭(7日間:10団体)

オ 施設等の維持管理業務

- ・建物、設備保守管理(害虫駆除を含む)・施設清掃業務・警備業務・ピアノ、音響、照明、舞台保守点検
- ・防火防災管理点検・防火対象物点検・消防設備点検・防火設備点検・避難訓練・水防訓練

5 収支の状況

収 入		支 出	
指定管理料	27,462,000円	人件費	19,533,946円
利用料金	45,168,400円	光熱水費	16,483,011円
主催事業	4,246,695円	事業費	4,341,874円
損失費用補填額	0円	施設運営維持管理費	42,617,262円
その他	5,643,262円	合計(②)	83,071,905円
合計(①)	82,520,357円		
収支差額(①-②)	▲551,548円		

【参考】令和4年度指定管理料 30,283,293円

6 指定管理者による自己評価

サービス提供に関して	収支に関して
<p>令和5年度5月より新型コロナウイルスの第5類移行に伴い、日常を取り戻すアナウンスに続き利用に伴う来客数の動きもだいたい戻ってきた。利用者の不安も残る中、感染防止対策として主催者の意向を聞きながら施設側でも引き続き必要な衛生備品の用意を行い清潔なホールを心がけ、安心安全な施設の供給と運営に努めてきた。</p> <p>また、区との共催事業<内幸町ホール文化祭>では参加者(区民)・所管課(区)・指定管理者の三者で改めて説明会や個々の文化団体との面談等連携した意識向上を図り、ベースとなるちよだ芸術プランに基づいた地域文化の活性化に努めた。</p> <p>188席(親子室定員含む)の小劇場と言われるホールだが、行われる催事は大変質の高いものが多く、利用率の高さ、アンケートの結果等、提供するサービスに大変満足していただけましたと評価している。大規模改修工事まであと1年となったが、今後とも区民(住み、学び、働き、集う人々)の文化力の底上げを図るとともに、利用者・来場者全ての方が内幸町ホールで開催して良かった、来館して良かったと引き続き期待に応えられる施設運営を心がけていく。</p>	<p>収入面では、利用率の回復により会場利用料収入や付帯設備料収入は昨年度と比べて約10%増加したが、大規模改修に伴う現場調査などで貸し出しできない日が10日ほどあり、その分がマイナスとなってしまった。しかしながら利用率やワンストップサービス事業でのプラスの回復傾向がみられるように、人々の集まる本来の施設として次期に向け前向きな管理運営の課題として捉えることができた。</p> <p>支出面では、物価水準、人件費などの上昇があったが、光熱費部分での国の調整額もあり、区の補てんを受けることなく、ホールの運営を行うことができた。7月～8月の猛暑による光熱費上昇、機器や設備の急激な劣化などで一時的な支出も見られたが日々の保守点検、コスト意識でトータル的な経費を抑えることができた。今後も安心安全を常に意識し、コストパフォーマンスに配慮した運営を心がける。</p>

7 区による評価・業務改善要求

<p>利用率は新型コロナ感染症の拡大以前と同程度まで回復し、幅広く利用されている中で、若手へ活動の場を提供しつつも独自性のある事業を実施しており、区民が様々な文化芸術に親しむ機会を提供し、区の文化振興に寄与しているといえる。また、職員のホスピタリティの高さ、ワンストップサービスの継続、コストパフォーマンスへの高い意識など、ホールの運営のために状況に合わせて工夫を凝らし、尽力していることは高く評価できる。</p>

8 今後の指定管理に区が期待すること

<p>今後もこれまでのノウハウを活かし、利用者が安心して利用できるよう質の高いサービスの提供を求める。また、従前の実施内容に捉われない新たなジャンルの事業を開催することで、引き続き文化芸術の情報発信と文化交流の普及に取り組んでいただきたい。</p>
--

令和5年度 指定管理施設に係る事業報告概要

施設名	千代田区立図書館 (千代田図書館、日比谷図書文化館、 四番町図書館、昌平まちかど図書館、 神田まちかど図書館)	所在地	【千代田】千代田区九段南1-2-1 【日比谷】千代田区日比谷公園1-4 【四番町】千代田区三番町14-7 【昌平まちかど】千代田区外神田3-4-7 【神田まちかど】千代田区神田司町2-16
-----	--	-----	--

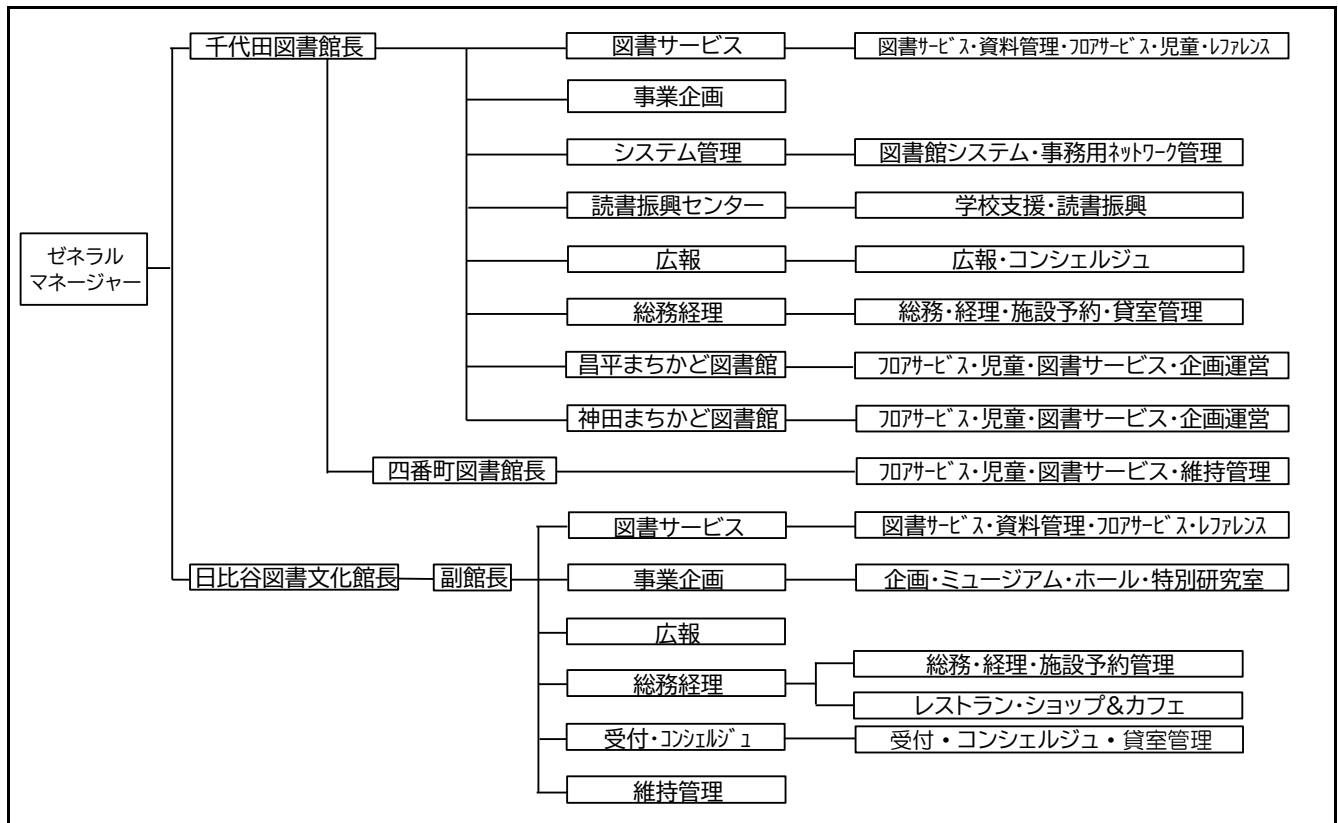
1 指定管理者の概要

名称	千代田ルネッサンスグループ	代表者	【代表団体】 株式会社小学館集英社プロダクション 代表取締役 都築 伸一郎 【構成団体】 株式会社ヴィアックス 代表取締役 西門 直 株式会社図書館流通センター 代表取締役 谷一 文子 カトリックパブリシティサービス株式会社 代表取締役 千 大輔 株式会社シェアード・ビジョン 代表取締役 小出 元一 大星ビル管理株式会社 代表取締役 寺島 剛紀
所在地	千代田区神田神保町2-30		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日	報告期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

2 管理施設の概要

施設の目的	区立図書館の伝統と新しい行政に取り組む千代田区の特徴を生かし、文化情報資源の総合センターとしての役割を担い、基本的な図書館サービスの拡充や区民の生涯学習に資する。
管理業務の内容	(1)図書館の利用に関する業務 (2)図書館の事業の実施に関する業務 (3)その他、館の運営に関し必要と認める業務

3 管理体制の状況



4 事業実績等

(1) 来館者数

	千代田図書館	日比谷図書文化館	四番町図書館	昌平まちかど図書館	神田まちかど図書館
令和5年度	394,278人	521,501人	116,609人	66,593人	100,609人
令和4年度	302,006人	450,469人	120,542人	59,832人	89,506人
令和3年度	212,741人	286,050人	116,174人	46,535人	69,058人

(2) 図書館業務(令和5年度)

施設名	登録者数	蔵書数	貸出数(団体貸出を含む)	レファレンス受付件数	データベース利用件数
千代田図書館	19,929人	218,743点	234,270点	4,411件	3,206件
日比谷図書文化館	21,514人	233,997点	140,076点	2,014件	1,671件
四番町図書館	5,731人	96,349点	215,939点	212件	0件
昌平まちかど図書館	2,307人	30,169点	61,109点	-	-
神田まちかど図書館	3,709人	28,626点	131,289点	-	-

5 収支の状況

収入		支出	
指定管理料(図書館事業運営)	815,283,041円	人件費	540,819,926円
指定管理料(学校図書館等司書派遣)	61,353,000円	資料費	83,463,514円
研修室、会議室、ホール利用料	32,929,678円	システム運営費	2,317,666円
レストラン、ショップ&カフェ販売料等	65,903,598円	広報費	11,846,349円
日比谷カレッジ受講料	3,561,000円	一般運営費	37,603,512円
特別研究席利用料、日比谷ラボラトリー売上	1,410,200円	維持管理費	172,397,346円
特別展入場料	1,225,300円	一般管理費	20,370,370円
コピーサービス利用料、共催費	2,282,450円	事業費	154,233,336円
合計(①)	983,948,267円	合計(②)	1,023,052,019円
収支差額(①-②)	-39,103,752円		

6 指定管理者による自己評価

サービス提供に関して	収支に関して
<p>来館者数、新規登録者数は、コロナ禍からの回復傾向が継続しています。回復速度が遅かった千代田も、来館者数40万人には届かなかったものの、5館の中で前年度比で最も高い回復率でした。四番町の来館者数は前年度比96.7%でしたが、仮施設での運営ということをお断りすれば問題となる結果ではないと考えています。</p> <p>また、令和4年度から図書館公式YouTubeの配信を開始しましたが、令和5年度は配信回数を増やし、図書館利用につなげる努力をしました。</p> <p>日比谷図書文化館では、「関東大震災100年首都東京の復興ものがたり」「石川直樹Asent of 14: 14座へ」の2つの特別展を開催し、区の教育委員会(文化財)主催の前者は28,651人の入場者数となりました。関連講座も盛況で、アンケート調査では特別展、特別展関連講座ともに高い満足度をいただく結果となりました。</p> <p>レストラン、ショップ&カフェの来客数は、前年度に比べ1万人以上増えましたが、コロナ禍前の令和元年度比では、まだ72%程度の回復です。飲食材料や光熱費の高騰を考えると、依然厳しい状況にあります。</p>	<p>【収入】 コロナ禍が明けたことによって、研修室、会議室、ホールの利用料は伸びたものの、コロナ禍後の経済活動の変化や生活の行動変化により、予算に対する実績は、レストラン7割強、日比谷カレッジ等の講座6割、特別研究席4割、特別展示売上3割強、コピーサービス7割強にとどまりました。なお、光熱費高騰の影響による指定管理料の増額変更がありました。</p> <p>【支出】 人件費、資料費は概ね予算どおりに、運営費も予算内に抑えられました。資料費では、四番町図書館と両まちかど図書館の資料の新規購入や汚破損等による買換えを優先しました。また、コロナ禍後もWeb図書館の需要が続いており、千代田図書館の資料費の一部をデジタルコンテンツの充実に振り向けました。</p> <p>一方、主に事業費に関しては物価高騰により支出負担が大きく、コロナの5類移行によって損失費用補填がなくなったこともあり、結果的に収支差額はマイナスとなりました。</p>

7 区による評価・業務改善要求

来館者数、資料貸出数ともに回復傾向にあり、利用者満足度の調査結果を見ても、仮施設で運営している四番町図書館を除けば各館とも95%を超える高い評価を得ていることは、指定管理者による安定的な運営の賜物と評価できる。

指定管理者提案事業として開始した図書館公式YouTubeほかSNSを活用した広報発信や、さらなる訴求力のある企画やイベントの実施により来館者数増をめざすとともに、引き続き満足度の高いサービスの提供を期待する。

8 今後の指定管理に区が期待すること

令和6年度に策定予定の「第4次千代田区子ども読書活動推進計画」を踏まえ、子どもも大人も読書を楽しみ親しめるような事業展開を期待している。また、時代の潮流として図書サービスのDX化についても、利用者の利便性向上につながる手段の一つとして、積極的に推進していただきたい。

施設面では、令和9年度の移転に向けて新四番町図書館の開設準備が少しずつ本格化しているが、遅滞なく準備を進めるためにも、引き続き区との緊密な連携をお願いしたい。

令和5年度 指定管理施設に係る事業報告概要

施設名	千代田区立九段生涯学習館	所在地	千代田区九段南1-5-10
-----	--------------	-----	---------------

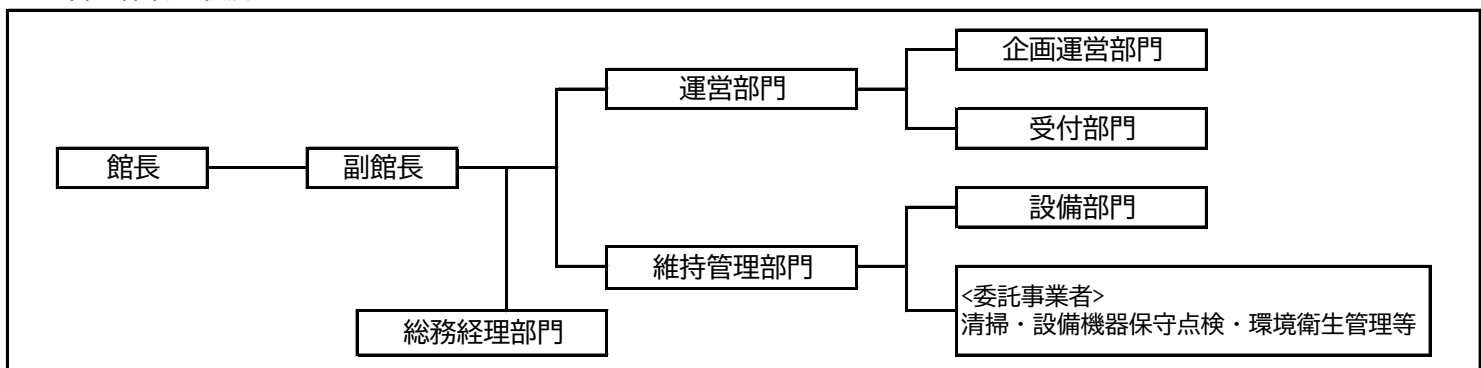
1 指定管理者の概要

名称	ちよだすぼすたみらい		
代表団体	美津濃株式会社	代表者	代表取締役 水野 明人
所在地	大阪市中央区北浜四丁目1番23号		
構成団体1	ミズノスポーツサービス株式会社	代表者	代表取締役 薬師寺 洋彰
所在地	大阪市中央区北浜四丁目1番23号		
構成団体2	株式会社小学館集英社プロダクション	代表者	代表取締役社長 都築 伸一郎
所在地	千代田区神田神保町二丁目30番地		
構成団体3	大星ビル管理株式会社	代表者	代表取締役 寺島 剛紀
所在地	文京区小石川四丁目22番2号		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日	報告期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

2 管理施設の概要

施設の目的	区民（区に住み、働き、学ぶ全ての人々をいう。以下同じ）の生涯学習の振興を図ることを目的とし、生涯学習活動を実践できる場の提供及び支援に関する事業を行う
管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> (1) 生涯学習館の施設の利用承認に関すること。 (2) 生涯学習関係団体の育成及び連携に関すること。 (3) 生涯学習の指導及び助言に関すること。 (4) 生涯学習活動の普及及び推進に関すること。 (5) 施設の保守及び維持管理に関すること。 (6) その他館の事業及び管理運営に関し必要な業務。

3 管理体制の状況



4 事業実績等

ア 施設利用

年度	総数	区民一般団体利用件数	事業利用件数
5	8,025	7,500	525
4	7,611	7,116	495
3	5,407	5,114	293

イ 主催事業

【指定事業】区民自主企画講座（8講座）、生涯学習教養講座（4講座）、家庭教育学級（4講座）、児童生徒余暇事業（3講座）、生涯学習人材バンク活用講座（7講座）、生涯学習人材バンク登録制度、ちよだ生涯学習カレッジ、子ども自然教室、くろべ子ども自然体験村、生涯学習団体1日公開講座事業（44団体）、講座講習会パウチャー制度（549件）、生涯学習ガイドブックの発行（2,000部）、生涯学習ホームページの運営

【提案事業】区内生涯学習交流事業（九段フェス2024）、異世代交流事業（1講座）、ちよだまち魅力探訪（2講座）、施設利用者用コピー機の設置、フリーWi-Fiの設置

ウ 施設等の維持管理業務

- ・建物、設備保守管理
- ・施設清掃業務（害虫駆除含む）
- ・警備業務

5 収支の状況

収 入		支 出	
指定管理料収入	112,562,569円	人件費	66,454,237円
施設利用料金収入	7,795,875円	委託費	11,349,492円
個別指定事業(指定分)収入	3,824,000円	事業運営費	47,330,074円
個別指定事業(提案分)収入	230,460円		
その他収入	251,816円		
合計(①)	124,664,720円	合計(②)	125,133,803円
収支差額(①-②)	-469,083円		

6 指定管理者による自己評価

サービス提供に関して	収支に関して
<p>令和5年度は、5月から新型コロナウイルスの類型が変わり、社会活動が本格的に再開される中、当館においても学習活動が再開される様子が見られてきた。施設利用においては、昨年度と比べて1割弱の回復が見られてきた一方で、中・大部屋の利用に希望が集中し、小部屋の利用が伸び悩んだ。オンラインの普及などによる、活動形態やライフスタイルの変化が影響していると考えられる。その為、備品類の拡充（畳やマット、ディスプレイ等）を行い、細やかなニーズにあった環境整備を行った。</p> <p>講座事業においては、区内施設や地域企業と連携した講座を充実させ、地域社会とのつながりを意図した展開を図ってきた。児童余暇活動事業では、講座で製作した昆虫標本をギャラリーに展示し、広く区民の方に鑑賞いただくという内容が大変好評だった。また、昨年度から始まった「ちよだ生涯学習カレッジ」の卒業生から在学生に向けた講座も質の高い内容になっており、カレッジ生同士の縦のつながりを深めるものとなった。</p> <p>九段生涯学習館が地域の方々にとって必要とされる存在であり続けるため、利用者の声に真摯に耳を傾け、さまざまな改善を行っていく。今後も、より充実した施設サービスと多彩な講座プログラムを提供し、利用者が学びと交流を楽しめる場となるよう努めていく。</p>	<p>（収入）収入累計については、予算比98.1%となった。一部、精算対象分の返金があり指定管理料が予算に対して減少したが、主な予算未達の理由は施設利用料の減少によるものである。しかしながら、新型コロナウイルスの類型変更の影響等もあり、前年比では3.4%の増収となっている。</p> <p>今後も引き続き、施設利用料の増収に向けた施策を講じる必要がある。具体的には、更なる備品の拡充や新規サークルの登録獲得などにより、小規模な部屋の稼働率を上げ、全体の利用率の向上を目指す。また、予約した部屋を結果として利用しないケースが散見されるため、譲り合った予約や利用を心がけていただくよう周知し、機会損失を減らし、少しでも活動につなげていけるよう努める。</p> <p>（支出）支出累計については、98.5%と予算内に収まった。しかし、収支差としてはマイナスとなっているため、今後も経費の削減と同時に収入増を図っていく。</p> <p>人件費については、公契約条例に伴う最低賃金の増加や職員の産休・離職が重なったため、引き継ぎのコストが嵩む結果となった。また、業務効率化のためMicrosoft365の導入を行ったことで、役務費も大きく超過している。諸経費については、採用を本部経費で行うことで大幅に縮減することができた。</p> <p>今後も、人件費や物価の高騰が予測されるため、無駄な支出を削減し、限られた予算を活用して、より利用者サービスに還元できるよう努めていく。</p>

7 区による評価・業務改善要求

コロナ禍を経て活動形態が多様化する中、利用者のニーズに合わせた様々なサービスを検討・実行しており、また魅力ある講座を多数開催することで区民の生涯学習活動に貢献している点を評価する。一方で、支出面は昨年度に比べ全体的に縮減されており努力の様子が窺えるが、収支差改善に向けて引き続き削減に努めてほしい。

8 今後の指定管理に区が期待すること

引き続き、利用者に魅力あるサービスを提供できるよう細やかな対応をお願いしたい。また、当施設は建替えに向けた検討を進めている最中であるため、利用者が一番近い立場からの意見は重要である。これからも区との連携を密にし、現施設運営及び将来に向けた検討を一体となって進めていくことを期待したい。

令和5年度 指定管理施設に係る事業報告概要

施設名	千代田区立スポーツセンター	所在地	千代田区内神田2-1-8
-----	---------------	-----	--------------

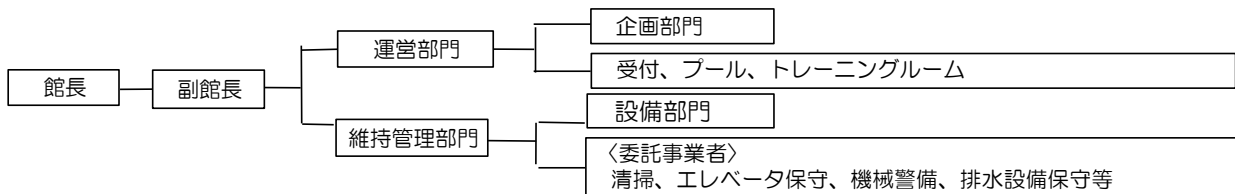
1 指定管理者の概要

名称	ちよだすぽすたみらい		
代表団体	美津濃株式会社	代表者	代表取締役 水野 明人
所在地	大阪市中央区北浜四丁目1番23号		
構成団体 1	ミズノスポーツサービス株式会社	代表者	代表取締役 薬師寺 洋彰
所在地	大阪市中央区北浜四丁目1番23号		
構成団体 2	株式会社小学館集英社プロダクション	代表者	代表取締役社長 都築 伸一郎
所在地	千代田区神田神保町二丁目30番地		
構成団体 3	大星ビル管理株式会社	代表者	代表取締役 寺島 剛紀
所在地	文京区小石川四丁目22番2号		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日	報告期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

2 管理施設の概要

施設の目的	区民（区に住み、働き、学ぶすべての人を言う。以下同じ）の生涯スポーツ及び生涯学習の振興を図ることを目的とし、生涯スポーツ及び生涯学習活動を実践できる場の提供及び支援に関する事業を行う。
管理業務の内容	(1)センターの施設の利用承認に関すること。 (2)生涯スポーツ関係団体及び生涯学習関係団体の育成及び連携に関すること。 (3)生涯スポーツの指導及び助言に関すること。 (4)生涯スポーツの適正並びに健康及び体力維持、増進等に係る相談に関すること。 (5)生涯スポーツ活動及び生涯学習活動の普及及び推進に関すること。 (6)施設の保守及び維持管理に関すること。 (7)その他センターの事業及び管理運営に関し必要な業務。

3 管理体制の状況



4 事業実績等

ア 利用実績

(1) スポーツ施設

施設 年度	合計	主競技場	剣道場	柔道場	卓球場	弓道場	相撲場	トレーニング ルーム	プール	ゴルフ レンジ	多目的室	集会室	見学者
令和5年度	254,563	69,673	15,713	15,946	17,719	16,031	1,101	55,693	40,674	4,257	5,820	11,571	365
令和4年度	220,760	56,214	15,005	13,827	17,431	15,513	896	46,647	34,530	4,494	5,464	10,373	366
令和3年度	142,667	30,389	9,640	9,435	11,456	12,580	471	25,962	27,405	4,177	4,572	6,357	223

(2) スポーツセンター7・8階（生涯学習施設）

年度	総数	区民・一般団体利用件数	事業利用団体
5	3047	3013	34
4	2951	2867	84
3	1906	1791	115

イ 主催事業

- スポーツ教室： エアロビクス教室、リズムシェイプアップ&チビッコ体操教室、ちよだキッズスポーツ塾、やさしいヨガ
はじめてピラティス、はじめてのバレエエクササイズ、たのしくフラダンス、バレトン、たのしくジャズダンス
キッズダンス（幼児クラス、小学生クラス）、運動会必勝塾（かけっこ教室、走り方教室）
苦手克服体操教室（幼児クラス、小学生クラス）、アクアビクス教室、成人水泳教室、親子水泳教室
小学生水泳教室、短期小学生水泳教室（苦手克服教室、スキルアップ）、卓球教室（入門・初心者クラス、中級クラス）
- 週間プログラム： リズムエクササイズⅠ&Ⅱ、かんたんストレッチ、かんたんピラティス、ボディシェイプアップ
ヘルシー体操、はつらつ体操、リフレッシュ体操、水中エクササイズ
- 短期教室： ポケモン忍者教室、スポーツ体験会（バレーボール、バスケットボール）
走り方教室、小学生水泳教室、ランニング教室、ノルディックウォーク教室

- スタジオプログラム：ビューティ体操、ヨガブレイク、ストレッチヨガⅠ＆Ⅱ、ダンスエクササイズ、整うストレッチ
リラクゼーションヨガ、ズンバSP、エアロボックス、スッキリストretch、美脚美尻レッスン、ヨガフィット
コンディショニングヨガ、バレトン&ズンバ、バーチャルプログラム
ほぐしヨガ、バレトンSP、キックボクシングエクササイズ、ソフトヨガ、モーニングピラティス
ステップエクササイズ、リフレッシュヨガ、ベリーダンスエクササイズⅠ、ナイトヨガ、姿勢改善ピラティス
フローヨガ、マイセルフボディケア、バレエエクササイズ、ジャズダンス
ソフトモーニングヨガ、モーニングヨガ、かんたんエアロボックス、祝日特別プログラム（15プログラム）
- プールプログラム：4泳法（基礎・中級・上級）、きれいに泳ごう（背泳ぎ・平泳ぎ・クロール・バタフライ）、アクアウォーキング
テクニックスキルアップ、祝日特別プログラム（5プログラム）
- スタディプログラム：マイケル先生と楽しい英会話（初級&中級&上級）、楽しい中国語、カラダリセット
カラダのトリセツ、かんたん本格スイーツクッキング、ハッピーハンドメイド、Let's study「金継ぎ」
Let's study「盆栽」、マイケル先生と楽しいクリスマスパーティー
米粉100%で作るふわふわレシピ、Let's study「水引」、おうちでフレンチ、Let's study「籐細工」

5 収支の状況

収 入		支 出	
指定管理料	146,816,945円	人件費	130,752,655円
利用料収入	51,286,423円	光熱水費	39,749,874円
事業収入	50,870,965円	事業費	26,565,349円
その他の収入	7,478,930円	その他の支出	78,622,881円
R5.4月～R6.3月上補填	12,058,565円		
合計(①)	268,511,828円	合計(②)	275,690,759円
収支差額(①-②)	-7,178,931円		

6 指定管理者による自己評価

サービス提供に関して	収支に関して
<p>令和5年度は指定管理者として第4期2年目の年となった。新型コロナウイルスも5月より「5類感染症」へ移行し、利用者の生活も法律による要請・関与の仕組みから、個人の選択による自主的な行動へと変化した。こうした中、築51年目を迎えたスポーツセンターは各所に劣化が見られるものの、所管課の指導のもと適切な修繕を実施し、気候の変化による空調管理等を含め、利用者が快適に利用できる施設運営を目指した。また、新型コロナウイルス感染拡大防止及び利用者の安心安全への対策としてきた受付の仕切りやトレーニング室の間仕切りを撤去し、従来通り解放感のある接客、施設利用が出来るようにレイアウトの変更も実施した。その他、利用者からの要望に応えるべく、売店商材の見直しと付加価値販売（シューズフィッティング）の実施により、利用者の再来場や満足度向上に貢献する事ができた。</p> <p>また、昨年度から導入した受付のキャッシュレス決済は利用できる種類を増やした結果、利用件数が更に増加している状況で、券売機にもキャッシュレス機能を追加導入したことで、年間4,500件の利用があり、利便性を更に高める結果となっている。</p> <p>施設プログラム関連では、プールにおけるプライベートレッスンなど個人の泳力に合わせた満足度の高い水泳教室を、比較的空いている平日と祝日の時間帯を活用して開催した。その他、オリンピックを活用した運動教室を開催し、柔道講師による子ども向け運動指導や専門性を高めた柔道技を教える教室の開催により、満足度の高い教室を開催することができた。</p>	<p>指定管理料を含む総収入合計は予算比96.6%(9,502,548円減)、前年度比96.4%(9,990,150円減)となった。利用収入は前年度比104%(1,973,359円増)、事業収入は前年度比112.2%(5,521,582円増)、その他の収入は前年度比141.1%(2,179,587円増)となり、指定管理料を除く運営収入計は、前年度比109.7%(9,674,528円増)の増収となったが、予算比では83.1%(22,356,682円減)と大きくマイナスとなった。</p> <p>主な収入では、個人利用が前年度比111.4%(3,652,322円増)、団体利用は前年度比98.3%(542,625円減)、すばすた会費が前年度比112.4%(1,242,880円増)と緩やかに回復傾向ではあるが、テレワークなど働き方の変化が在勤者と在勤団体のスポーツセンター利用に引き続き影響を与えている。</p> <p>支出総額は、前年比99%にて推移し、光熱費94.3%(2,411,315円減)、修繕費が82.8%(1,380,135円減)と経費の効率化を進めている。全体予算比でも99%を維持している状況である。今後の懸念材料としては、施設の老朽化が進んでおり、突発的な修繕費用が増加することが予想されること、温暖化や猛暑等による光熱費の高騰などがある。</p>

7 区による評価・業務改善要求

<p>施設の老朽化により、機能面での不具合が多いが、状況に応じて対応策を区と協議、または提案し、適切に対応している。また、需要の高いトレーニング関連の拡充を図るなど、利用者の増加や定着を促す工夫がなされている。</p> <p>大手町近辺という土地柄、コロナ禍を経て近隣の在勤者の働き方改革等により利用者の減少が続いていたが、集客努力を惜みず、徐々に回復傾向にある。次年度は利用者用の月極ロッカーの導入を図るといった利用者の利便性を図る事業を計画しており、引き続き利用者が増加するような取組みをお願いする。</p>
--

8 今後の指定管理に区が期待すること

<p>利用者とスタッフ双方が安全安心に過ごせるよう心掛けた運営を引き続き行いつつ、サービス提供の工夫と努力を継続することを期待する。また、施設の利用予約や利用料金の支払いなどに関し、利用者の利便性がさらに向上するよう、区と協議しながら改善することを期待する。</p>
